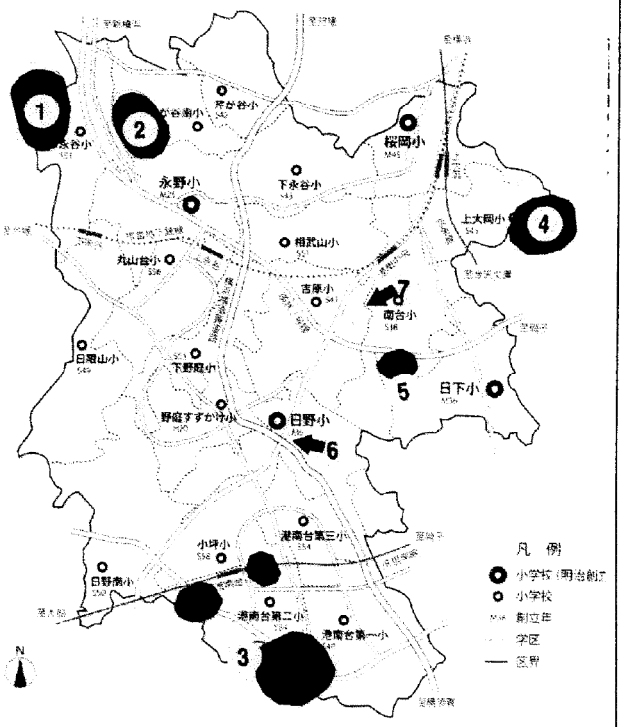
港南区の歴史

2011-4　港南歴史協議会(遠藤)

時代	出来事	所在(関連場所)地図
縄文 ～ 平安	凡そ 7000 年前の縄文早期から人の気配があり、縄文中期以降からは住居跡が多数認められ、縄文から古墳時代までの遺跡数は 130 ヶ所を超える。6 世紀以前から大岡川周辺では稲作が行われ、この穀倉地域は一時大和王権の直轄地(屯倉)となった。 古墳終末期から奈良時代にかけて渡来系の家族墓と思われる横穴墓が多数造られた。同時期(7～9 世紀)には武相国境周辺に製鉄工房が造られ大和王権の対蝦夷兵站基地の役割も担ったと思われる。	
(1) 縄文 弥生 古墳	*縄文～古墳時代の住居跡など定住痕跡を残す地域を下記・右図に示した。 ① そとごう・下永谷群、②殿屋敷群、 ③ 港南台群、④上大岡東群、⑤雑色杉本遺跡 *日下小付近に数か所の貝塚があった。 * 『日本書紀』安閑天皇元年の記事に武蔵国造の継承争いに関連して倉樔(くらす)(後の久良岐)が屯倉として献上された。	
(2) 飛鳥 奈良 平安	*古墳終末期からの横穴墓は下記に造られた。 松が岡、日野、春日神社裏、(上郷猿田)など横穴墓は当地区から本郷台にかけて多数あった。 *7～9 世紀にわたり港南台遺跡群の南、上郷地区に製鉄工房(18 炉)があった。…大和の対蝦夷兵站基地 *8 世紀以降、当地は武蔵国久良岐郡、相模国鎌倉郡に属す。久良岐の中心(郡衙)は港南 5・6 丁目付近で安房洲神社⑦(今は天照大神社に合祀)があった。 *春日神社⑥創建…1091 年の創建時の名は穂井神社。	